

櫻草

餘數品アリ、一種播州及紀州ニ生ル者高サ三四尺ニシテ實少シ、花戸ニテシキンジウト呼、紀州ニテヤマシキミト云フ、

増一種ヒメマンリヨト云アリ、莖葉花實共ニ小ナリ、又實ノ直立シテ生ズル者アリ、タチミマンリヨト云、實ノ大ナルヲオホミト云、小ナルヲコミト云フ、

セシリヨト云モノアリ、深山ニ自生ス、マンリヨヨリ葉薄クシテ狭シ、節ノ處ニ高キフクレアリ、

花實モマンリヨニ似タリ、コレ汝南圃史ノ珊瑚ナリ、石ノ部ノ珊瑚ト同名ナリ、又ヒヨトリジャ

ウゴヲ雪裏珊瑚ト云、アヲキラ桃葉珊瑚ト云フ、共ニ汝南圃史ニ見ヘタリ、

〔佐渡志<sup>五</sup>物産〕硃砂根 方言マンリヨウ。此二種昔ハナカリシガ、今雜太郡新保村ノアタリニ多

シ、本南國ノ産ニテ、甚雪霜ヲ恐ルトイヘリ、

〔書言字考節用集<sup>六</sup>生植〕櫻草<sup>サクラサウ</sup>

〔大和本草<sup>七</sup>花草〕櫻草 三月紫花ヲ開ク、櫻花ノ形ニ似タリ、又白色アリ、ウスキ紅黃色アリ、高キ事

一尺餘ニスギズ、葉ハ蘿蔔ニ似テ小ナリ、花如錢大畏寒暑、又九輪草アリ、七重草アリ、此類ナリ、好

陰地、

〔和漢三才圖會<sup>九十四末</sup>〕櫻草

按櫻草生山谷中、即九輪草之一類異種也、葉形相似、微小、邊無齒、刻不甚光澤、而葉心白、<sup>九輪草</sup>三四

月抽莖頂生花、似九輪草花而單、淡紫色、或白色、又如櫻花最艷美、故名櫻草、結蒴兒青色、內結子、初青

後茶褐色、人家移種之、

〔草木育種<sup>下</sup>美花〕櫻草 種類甚多し、悉舉に暇あらず、大抵黒ぼく土五升、下谷邊の溝のあげつちを、

曝し墾し、細に篩たるを五升、烏のふんを入れてませ合せ、此土へ二月初に根を分植てよし、一説に

馬糞水を澆ば花多しと云、あまり肥過たるは葉大にして花の莖長く、且少して不揃なり、又ゆき